

保証書

本書は保証期間内に本書記載内容で無料保証をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、弊社お客様サービスセンターにご依頼ください。

※この保証書は販売店様の日付けの入ったレシートまたは領収書があれば無効となります。

製品コード	KABT-009	製品名	デュアルリンクBluetooth送受信機 TR-09
※お買い上げ日	年 月 日	保証期間	お買い上げ日より：半年間
お客様	お名前		
	ご住所 〒		
	電話番号		
※販売店	住所・店名		
	電話番号		

店舗印

当製品の保証書にご記入されたお客様の個人情報は、修理・交換後の製品発送のみ使用し、それ以外に使用したり、第三者に提供することは一切ございません。

販売店さまへ ※印欄は必ず記入（もしくは押印）してください。

保証規定

- 保証期間内に取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料保証いたします。弊社「お客様サービスセンター」にご依頼ください。
- 保証期間内に故障した場合には、製品と本書をご持参・ご提示の上、弊社「お客様サービスセンター」にご依頼ください。
- 保証期間内でも次の場合には保証対象外になります。
 - 弊社「お客様サービスセンター」以外による分解・修理及び改造をおこなった場合
 - お客様の過失・不注意（使用上の誤り、製品をぶついたり落下等による強い衝撃を与えるなど）による故障及び損傷
 - 取扱説明書に記載されている消耗部品が自然摩耗または自然劣化していること起因して故障が発生した場合。
 - 火災・地震・その他の天災事変による故障及び損傷
 - 本書の掲示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 他人へ譲渡した場合
 - 正規販売ルート以外で購入した場合
- レンタルなどによる貸し出し、オークション等による転売・中古販売、及び譲渡によって発生した故障・損傷・劣化・損害・事故などに対して一切の責任を負いかねます。ご了承ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効となります。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

発売元 **ライオン株式会社**

〒577-0034 大阪府東大阪市御園南2-1-33

お客様 **TEL 06-6789-1199**
サービスセンター 【月～金（祝日除く）10時～16時】

WEBからの修理・交換の
お問い合わせはこちら



取扱説明書

もくじ

- 安全にお使いいただくために…P.2～3
- セット内容・各部名称 ……P.3
- 充電方法 ……P.4
- 使用方法 ……P.5～9
- 故障かな？と思ったら ……P.10
- テクニカルデータ ……P.11
- 保証書 ……P.12



Bluetooth®

日本国内専用

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,INC.が所有する登録商標であり、ライオン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

検索デバイス名

LITHON TR-09

※本機はBluetooth®対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。機器によっては使用できない場合もございます。ご了承ください。

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。ご使用前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。この取扱説明書はお読みになった後も、大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

ご使用前に必ずお読みください。

この説明書には、ご使用になる方やその周辺にいる方々や物への危害や損害を未然に防ぐためのお守りいただきたい事項を記載しています。製品を安全にご使用いただくために内容を十分にご理解いただきますようお願いいたします。

警告

下記事項を守らなかった場合、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

- 煙が出たり、異臭、異音が生じたら、すぐに使用を中止し、電源を切ってください。
- 分解や改造をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。
- 水のかかる場所や、ぬれた手で充電しないでください。感電や故障の原因になります。
- 落雷のおそれがある時は、USB充電ケーブルをパソコンなどから抜いてください。
- 心臓ペースメーカーや医療機器などの近くでは、医師に相談の上で使用してください。

注意

下記事項を守らなかった場合、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。

- 本機を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本機はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- 高温・多湿・直射日光のあたる場所での使用・保管はしないでください。製品の劣化・故障の原因になります。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
- 医療機器や人命に直接的または間接的にかかわるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下で使用しないでください。
- 飛行機の中では使用しないでください。通信システムを妨害する恐れがあります。
- 使用しない時は本製品の電源をお切りください。
- 本機は防水加工は施されておりません。水気のある場所での使用・保管はしないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください。
- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書の指示に従ってください。本製品は、スマートフォンなどと無線通信による使用が可能です。接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。
- 布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。熱によって変形し、火災の原因になることがあります。
- 子供や乳幼児の手の届く場所での保管・使用はお避けください。

Bluetoothについて

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムとしての無線設備として、認証を受けているので、無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - 本機を分解・改造すること
 - 本機に貼ってある(プリントされている)証明ラベル(マーク)をはがす(削り取る)こと
- 本機は2.4GHz帯域の電波を使用していますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意して使用してください。

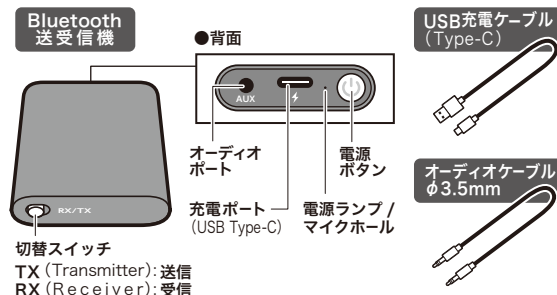
本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局やアマチュア無線局、免許を要さない特定小電力無線局などが運用されています。

- ① 本機を使用する前に、近くで無線局が運用されていないことを確認してください。
- ② 万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止し、電波干渉を避けてください。

- 本機の通信距離は最大約10mですが、磁場や静電気・電波障害が発生する場所や、2.4GHz帯域の電波を使用しているものの近く、壁や障害物の影響によって、通信が安定せずに接続が途切れたりすることがあります。
- 対応するBluetooth機器であっても、動作しない時があります。
- 磁場や静電気、電波障害によって、雑音が発生する時があります。
- 日本国外では使用できません。各国の電波法に抵触する可能性があります。

※誤った使用方法で発生するすべての事柄に対して、弊社は一切の責任を負いかねます。ご了承ください。

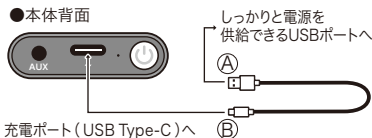
セット内容・各部名称



充電方法



- ・充電には付属のUSB充電ケーブル以外を使用しないでください。
- ・初めて本機を使用するときは、完全に充電をおこなってください。
- ・USBハブを使用して充電をおこなった場合は、正常に充電されないことがあります。必ずUSBアダプターやパソコン本体のUSBポートなど、しっかりと電源を供給できる環境で充電をおこなってください。



お手持ちのUSBアダプターやパソコン本体のUSBポートに付属のUSB充電ケーブル(A)を接続し、もう片方(B)を本機の充電ポート(USB Type-C)に差し込みます。ランプが赤く点灯し、充電が開始されます。充電が完了すると消灯します。

● 充電が完了するまで約2時間かかります。

上記の時間が経過したら、USB充電ケーブルを取り外してください。

● 充電中の使用について

本機を充電しながら使用しないでください。電池の劣化を促進させたり、電池破損の原因になります。



● 電池残量が少なくなった時の電源ランプ・通知音について

電池残量が少なくなると、電源ランプは赤く点滅します。本機が受信側の際(P.7、8参照)、電池残量が少なくなると有線接続しているスピーカー、もしくはヘッドホンから「battery low」と通知音が鳴りますので、充電してください。

※本機が送信側の際(P.6参照)は、通知音は鳴りません。

使用方法 基本操作 / ペアリングについて / リセット方法

基本操作

- 電源ON 本機の電源ボタンを長押しすると電源が入り、ランプが2回青点滅した後、赤と青が交互に点滅します。
- 電源OFF 本機の電源が入っている状態で、電源ボタンを長押しすると電源が切れ、ランプが2回赤点滅した後、消灯します。約10分間、他の機器とペアリングされなかった場合も、自動で電源が切れます。

接続(ペアリング)中の電源OFF時の注意

- ⚠ 本機の電源を先に切ってください。接続先の機器の電源を先に切った場合、ペアリングできない状態になる場合があります。その場合、P.9の【使用方法】(ペアリングの情報を消去する方法)をご参照ください。

■送信・受信モードの切り替え

切替ボタンを「TX」に合わせると「送信モード」、「RX」に合わせると「受信モード」になります。



- ※電源を切らずに切替スイッチをスライドさせても、モード切り替えはできません。一度電源を切って3秒経ってからモードを切替え、電源を入れ直してください。

機器との接続(ペアリング)について

本機をBluetooth非対応の機器とオーディオケーブルで接続して、Bluetooth対応の機器へ音を送信させたり、受信をさせることができます。その際、本機とご使用になるBluetooth対応機器のペアリング(初期登録する作業)をおこなう必要があります。本機1台に対して同時にペアリングできる機器は2台まで可能です。

- ※本機と接続させたい機器の間に、他のBluetooth機器があるとうまくペアリングしないのでご注意ください。



- ※約2分30秒経ってもペアリングができない場合は、接続させたい機器の電源を切り、P.9の【使用方法】(ペアリングの情報を消去する方法)をおこなってから、再度お試してください。

- ※2台同時接続中の通信距離・使用時間は1台のみの接続時よりも短くなります。

リセット方法

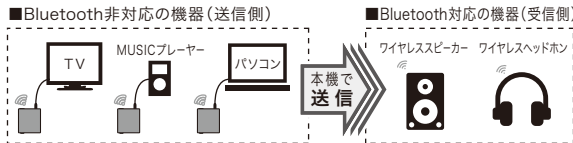
電源が切れない・きちんと動作しない等、不具合が見られた場合、以下の方法で機器のリセットをおこなってください。

- (1) 電源ボタンを約9秒間押し続けて、電源が切れたら指を離します。
- (2) 電源が切れた後、自動で電源が入ります。
- (3) ランプが赤と青に交互に点滅したら電源を切ります。

使用方法 送信時:1台接続 / 送信時:2台同時接続

機器との接続(ペアリング)の仕方① 送信

本機を使用してBluetooth非対応のテレビ等の音声を、Bluetooth対応のスピーカーやヘッドホンに飛ばすことができます。



1)オーディオケーブルを接続

本機のオーディオポートに付属のオーディオケーブルをしっかりと奥まで挿し込み、もう片側をBluetooth非対応のテレビ等の機器のヘッドホンジャックに挿し込みます。

2)本機とBluetooth対応のスピーカー・ヘッドホン等とペアリング

Bluetooth対応のスピーカー(ヘッドホン等)の電源を入れてペアリングモードにします。本機の切替スイッチをTX(送信モード)にしてから本機の電源を入れ、機器同士を近づけます。しばらくすると自動でペアリングされます。ペアリングが完了すると本機の電源ランプが赤と青が交互に点滅→青点灯に変わります。



※自動でペアリングされない場合は、電源ボタンを2回押してペアリング先を再検索の状態にして、しばらくお待ちください。
電源ランプ:(検索中)赤と青が交互に点滅→(ペアリング完了)青点灯

2台同時接続の場合 送信

上記のように1台目のBluetooth対応のスピーカーやヘッドホンとペアリングしてください。

1)2台目の機器の電源を入れる

別のBluetooth対応のスピーカーやヘッドホンの電源を入れてペアリングモードにしてください。

2)ペアリング先を検索

本機の電源ボタンを2回押してペアリング先を検索する状態にして、機器同士を近づけます。しばらくすると自動でペアリングされ、2台の機器と同時にペアリングしている状態になります。

ペアリングが完了すると本機の電源ランプが赤と青が交互に点滅→青点灯に変わります。

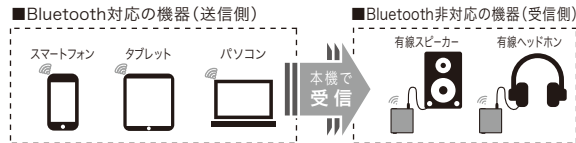
3)2台の機器から同時に音が流れ出す

本機とオーディオケーブルをつなげているテレビやミュージックプレーヤー等の音が2台の機器から同時に流れ出します。

使用方法 受信時:1台接続

機器との接続(ペアリング)の仕方② 受信

本機を使用してBluetooth非対応のスピーカーやヘッドホン等に、Bluetooth対応機器の音を受け取らせることができます。



1)オーディオケーブルを接続

本機のオーディオポートに付属のオーディオケーブルをしっかりと奥まで挿し込み、もう片側をBluetooth非対応のスピーカー(ヘッドホン等)のヘッドホンジャックに挿し込みます。

2)本機を「受信」モードに

本機の切替スイッチをRX(受信モード)にしてから電源を入れます。電源ランプは赤と青に交互に点滅。

3)デバイス名「LITHON TR-09」を選択して登録

ペアリングしたい機器から本機を検索します。検索方法はご使用の機器によって異なります。ご使用の機器の取扱説明書などをお読みください。
ペアリングしたい機器から本機が見つかったら、デバイス名「LITHON TR-09」が検索画面に表示されるので、選択して登録します。
ペアリングが完了すると、本機とオーディオケーブルをつなげた先の機器から「Connected」と通知音が流れ、本機の電源ランプが赤と青に交互に点滅→青点灯に変わります。



※本機とオーディオケーブルをつなげている機器の音量がゼロの場合、ペアリング完了の通知音は聞こえません。

機器によってはペアリング後に「接続」操作が必要な場合があります。お手持ちの機器の取扱説明書をお読みになり、「接続」操作をおこなってください。

1度ペアリングをすると、以降は自動的に接続されます。

※ご使用の機器や設定によっては自動的に接続されない場合もあります。



※送信モード(TX)に切り替えて電源を入れたら、受信モード状態のすべての記憶されたデバイス情報は消去されます。詳細はP.9の【使用方法】(ペアリング解除方法)を参照。

使用方法 受信時:2台同時接続

2台同時接続の場合 受信

P.7の手順で1台目のBluetooth対応のスマートフォンやタブレット等の機器とペアリングしてください。

1)2台目の機器の電源を入れる

別のBluetooth対応のパソコンやタブレット等の電源を入れます。

2)ペアリング先を検索

本機の電源ボタンを2回押してペアリング先を検索する状態にします。
電源ランプが青点灯→赤と青の交互の点滅に変わります。

3)デバイス名「LITHON TR-09」を選択して登録

ペアリングしたい2台目の機器から本機を検索します。

検索方法はご使用の機器によって異なります。ご使用の機器の取扱説明書などをお読みください。

ペアリングしたい機器から本機が見つかったら、デバイス名「LITHON TR-09」が検索画面上に表示されるので、選択して登録します。

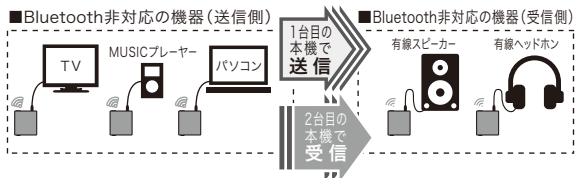
ペアリングが完了すると、本機とオーディオケーブルでつなげた先の機器から「Connected」と通知音が流れ、本機の電源ランプが赤と青に交互に点滅→青点灯に変わります。

! ※本機とオーディオケーブルでつなげている機器の音量がゼロの場合、ペアリング完了の通知音は聞こえません。

使用方法 本機2台で送信・受信

機器との接続(ペアリング)の仕方③ 本機を2台使用しての送信&受信

本機を2台使用してBluetooth非対応の機器同士をつなげ、音を流すことができます。



1)「送信」側の本機と、Bluetooth非対応機器をオーディオケーブルで接続

本機のオーディオポートに付属のオーディオケーブルをしっかりと奥まで挿し込み、もう片側をBluetooth非対応のテレビ等の機器のヘッドホンジャックに挿し込みます。

使用方法 本機2台で送信・受信(つづき)

2)「受信」側の本機と、Bluetooth非対応機器をオーディオケーブルで接続

本機のオーディオポートに付属のオーディオケーブルをしっかりと奥まで挿し込み、もう片側をBluetooth非対応のスピーカー(ヘッドホン等)のヘッドホンジャックに挿し込みます。

3)2台の本機をそれぞれ「送信」と「受信」モードに

本機のカットスイッチをそれぞれTX(送信モード)・RX(受信モード)にしてから電源を入れます。電源ランプは赤と青に交互に点滅。

4)本機同士をペアリング

(3)の状態にしたら本機同士を近づけ、しばらくすると自動でペアリングされます。ペアリングが完了すると本機の電源ランプは青点灯に変わります。

! ※2台同時接続はできません。

使用方法 通話(受信時) / テレビ音声の送信について

通話について

本機を受信モードで使用してスマートフォンとペアリングさせると、着信があった場合ハンズフリーで通話することができます。

着信音が流れている時に本機の電源ボタンを一度押すと電話にすることができます。もう一度押すと通話を切ります。また着信中に1~2秒長押しすると通話を拒否することができます。

テレビ音声の送信について 受信機・テレビ両方から音声を出す方法

テレビの音声を本機から送信する際、テレビ本体と受信機(ヘッドホン、スピーカーなど)両方から音声を出したい場合は、テレビ側の設定で変更してください。

変更方法は使用しているテレビによって異なりますので、テレビの取扱説明書をお読みください。

使用方法 ペアリングの情報を消去する方法

TX (Transmitter): 送信時

送信モード(TX)で電源を切った後3秒待ちます。その後、モード切替(RX)をおこない電源を入れると送信モード状態のすべての記憶されたデバイス情報が消去されます。

RX (Receiver): 受信時

受信モード(RX)で電源を切った後3秒待ちます。その後、モード切替(TX)をおこない電源を入れると受信モード状態のすべての記憶されたデバイス情報が消去されます。

または、ペアリング解除したいBluetooth機器側から「LITHON TR-09」を削除します。削除方法はご使用のBluetoothデバイスの取扱説明書に沿っておこなってください。

故障かな？と思ったら

- 映像の音声が遅れて聞こえる
 - ・Bluetoothの特性上、映像に対して音声が多少遅れて聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 音量が小さい
 - ・接続機器側の音量を確認してください。使用環境によっては音量が小さく出力される場合がございます。
- 本機の電源が入らない
 - ・本機が充電されているかどうか、確認してください。
- ペアリングができない
 - ・接続先のBluetooth機能がペアリング可能な状態であることを確認してください。一般にスマートフォンやパソコンなど接続する側の設定で、機能を有効にする必要があります。接続する機器の設定を確認してください。
 - ・別の機器とペアリングされている可能性があります。接続を解除してからお試しください。
 - ・本機のランプが青点滅の状態から約2分30秒経ってもペアリングができない場合は、接続させたい機器の電源を切り、P.9の【使用方法】(ペアリングの情報を消去する方法)をおこなってから、再度お試しください。
- 接続後に本機がきちんと動作しない
 - ・本機および接続したスマートフォンやパソコン等の機器が、該当するBluetooth機能を搭載しているか確認してください。(Bluetoothのバージョンや対応しているプロファイルなど)
 - ・P.5の【使用方法】(リセット方法)をおこなってから、再度お試しください。
- いつも再接続していたのに突然再接続されなくなった
 - ・スマートフォンやパソコン等の接続する機器によっては繰り返し再接続している間に、登録情報が失われ、自動で再接続できなくなることがあります。本機および接続機器の電源を入れ直すと、再度ペアリングをおこなってください。
- ノイズやエコー音が入る
 - ・ペアリングの機器との距離を変えてみてください。
- スマートフォン等で動画音声が聴こえない
 - ・スマートフォン等の仕様により、ダウンロードしたプロモーションビデオなどの音声をBluetoothでは視聴できません。また、デジタル著作権保護のため、本機では再生できない場合があります。
- BluetoothキーボードやBluetoothマウスなど、他のBluetooth機器を使用すると本機からの音声が途切れる
 - ・Bluetooth機器の混信、ノイズにより稀に音声が途切れる場合があります。
- 連続再生時間が短くなった
 - ・バッテリーは消耗品です。使用とともに徐々に劣化していきます。
- 片側からしか音が出ない
 - ・オーディオケーブルが根本まで差さっているか確認してください。
- 本機はステレオです
 - ・モノラルタイプの場合は片方からしか音が出ない場合があります。

テクニカルデータ

Bluetooth	
バージョン	Bluetooth標準規格 Ver.5.3、class2
検索デバイス名	LITHON TR-09
伝送距離	最大約10m ※使用状況・環境条件により異なることがあります
使用周波数帯域	2.4GHz帯(2.402GHz~2.480GHz)
対応プロファイル	送信時(TX):A2DP 受信時(RX):A2DP、AVRCP、HFP
対応コーデック	送信時(TX):SBC 受信時(RX):SBC、AAC
同時接続台数	2台
その他	
電源	DC3.7V 内蔵リチウムイオン電池 160mAh
充電時間	約2時間 ※充電機器により異なることがあります
連続使用時間	約10時間 ※使用状況・環境条件により異なることがあります
接続	3.5mmイヤホンジャック入出力
使用温度範囲	約5~35℃
外形寸法	約 W36.5×D41×H10 mm
質量	約 13g
付属	USB Type-C充電ケーブル、オーディオケーブル φ3.5mm

※通信距離は、間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって、通信距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

※全てのBluetooth機器との接続を保証するものではありません。ご使用の機器によっては接続できない場合があります。予めご了承ください。

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。



製品を廃棄するときはバッテリーのリサイクルにご協力ください。本製品の本体には『リチウムポリマーバッテリー』が使用されています。資源を有効活用するため、廃棄するときは各地方自治体の廃棄物処理の指示に従って処理してください。